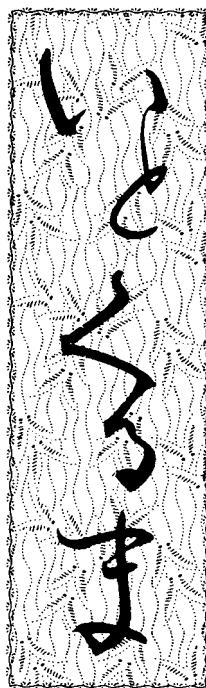


# 飛翔 創立90周年さらに100周年をめざして



創立80周年記念  
特集号



創立80周年記念式典 (函館市民会館大ホールH15.10.10)



創立八十周年を終えて

理事長 外山 正

平成十五年十月十日、本校創立八十周年記念式典が函館市民会館大ホールで盛大に挙行されました。会場には同窓の皆様はもとより、来賓各位・旧職員・在校生・教職員他、実に一千有余名が集い、会場は厳粛な中に創立八十年の慶びが満ち満ちておりました。式典に続く祝賀会は同会館小ホール他で開催され、温かく和やかに執り行われ、終生忘れ得ぬひとときとなりました。

こうして記念行事の全てをつつがなく終えることが出来ましたのも、ひとえに同窓生の方々・学園ゆかりの皆様のご支援ご協力があればこそであり、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、八十周年記念事業として福祉科実習棟並びに大妻会館を新築いたしました。いずれも地域の福祉活動や福祉教育の拠点・幅広い教育活動の場として建設されたもので、既に同窓会・全校生徒そして地域の皆様にご利用頂いているのは周知の通りです。

これまで時代の節目節目に施

設・設備を新設してきましたが、現在地の柳町(旧川原町)移転時の建物で現存するものは、吹奏楽部が練習場として使用している一教室のみとなっております。

なお、記念行事・記念事業を進めるにあたっては、同窓会とPTAの方々を中心とした創立八十周年記念協賛会が結成され、三年ほど前より事前準備・諸活動を粘り強く積み重ねてこられました。こうした地道なご努力が実を結び、輝かしい成果を上げられたわけですが、このことは校史にしつかりと刻まれ、折に触れ長く語り継がれていくことと思えます。

時代がいかに変わろうとも、心身ともに健やかで、豊かな人間性と他者を思いやる優しい心を持った女性を育成するという、建学の精神はこれからも脈々と継承され、本校は更に創立九十周年・百周年をめざして飛翔してゆくことでしょう。

同窓生の皆様には、この上とも良きご指導とご協力を賜りたく、ひとえにお願い申し上げます。



同窓会会長

## 北原幸子

S30年卒業(旧姓草野)

平成十五年十月十日、大安吉日母校の創立を祝うに相応しい秋晴れの清々しい佳き日、あの広い市民会館を埋め尽くさんばかりのご来賓始め学園関係の方々、そして各地からご出席下さった大勢の同窓生が集う中、式典並びに祝賀会が厳粛な中にも誠に華やかに且つ盛大に挙行されました。

函館大妻学園の八十年の歴史と昔ながらの伝統が大スクリーンを通して少しづつ蘇って参ります。

校長先生のご式辞や一連の行事を通して、多くの方に深い感動を与え、さらに学園の発展振りを見学頂き母校に対する一層の愛着と誇りを感じ取られ、帰路に着かれた事と存じます。

二十年余りを振り返って見ても大妻の伝統は少しも変わる事なく、脈々と受け継がれている事にまず驚かされます。

創立六十周年、七十周年、八十年と大きな節目毎に学校は、内外共に充実した発展を遂げ、その豊かさが子供(生徒)達に注がれている事を感じます。

母校の八十年の歴史を人生の八十年に置き替えて見ましても、私自身が未だ八十年がどの様なものか計り知る事は出来ませんが、母校の幸せな八十年に出会う事が出来た事は、この上ない慶びであり、節目ごとに記念行事に携わる光栄を頂き同窓生の一人として決して忘れる事の出来ない素晴らしい経験でございました。

これもすべてにおいて、学園関係者、PTA、同窓会の皆様のご支援とご協力を頂いたお陰と心から厚くお礼申し上げます。

同窓会として協力出来ました事は、第一体育館の緞帳、生徒食堂大妻会館とほんの一部ですが、PTAとの協賛で参加させて頂きました。

七十五周年に創立者、外山ハツ先生の胸像の建立を実現出来ました事は、同窓会の歴史の一つの大きな節目の様な気がして、今でも皆様の厚いご芳志に感謝の気持ちと充実感が湧いて参ります。

この度の八十年は大妻会館の再建を目標に、三力年計画でバザーを開催したり、福利厚生部として積立したものの、又急遽プログラムに掲載する広告をお願いする等私達で出来る限りの力を会員始め役員の方々に率先してご協力頂きました。中でも手作りの作品は毎月の様に学校に集まり、製作に皆様がご苦勞なさっていました。

支部の役員を始め皆様も趣旨をご理解頂き快くご賛同頂き、本当に感謝で頭が下がりました。

尚当日の協賛祝賀会では、叙勲とめでたく米寿をお迎えになられた理事長先生のお祝もかね、又校長先生ご夫妻には、日頃のご厚情に対する感謝を込め、花束を贈呈し大変お喜び頂きました。

学園の八十年の道程は、時代の様々な変化によって、私共には計り知れないご苦勞の日々に違いありませんが、今日迄の歴史と伝統のすばらしさを代々の校長先生によつて立派に継承されておられる事に改めて深い感謝と、この様にすばらしい学校に学んだ事を本当にうれしく、ありがたいと思う、と話される多くの同窓生にお会い出来、微力乍らでも母校の為、同窓会の為に共に頑張つてこられた事を本当に良かったと思ひ喜びに浸っております。

これから大妻の伝統を引き継いで下さる後輩も、私達と同じ気持ち

で母校を敬愛し、大妻精神をしつかりと持ち続けて頂きたいと願っております。

八十年の輝かしい歴史をお築き下さった先人のご苦勞と、現在尚一層輝ける大妻の歴史を受け継いで行かれる為に、日夜ご努力下さつておられる理事長先生始め校長先生、諸先生方に改めて感謝とお礼を申し上げ、さらに九十年、百年と伝統が生かされたすばらしい学校を築きあげて下さるよう、お願い申し上げます。

私達同窓生も自分達が誇れる母校にする為に、今後共惜しみないご支援とご協力をお誓いし未筆になりましたが、母校の益々のご隆盛と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



創立80周年記念として同窓会より事業目録贈呈



# 創立八十周年を終えて

学校 同窓会名誉会長 外山茂樹

同窓生の皆様、この度の創立八十周年記念式典・祝賀会には、多くの方々の御出席をいただき誠に有難うございました。お陰様で、約一千名もの出席者のもと盛会裏に終わることができ、学園の歴史に貴重な一ページを残すことができました。

その際、多くの同窓生にお会いしましたが、皆様方は口々に敵しくも楽しかった学校生活や創立者外山八ツ先生の思い出を懐しうに語ると共に、現在の自分があるのは大妻での学校生活のお陰であると話しておりました。

さて、今回の創立八十周年にあたっては、同窓会より一千万円の寄贈を受けました。喜んで、記念事業である大妻会館の建築資金の一部に充当させていただきました。本当に有難うございました。

大妻会館につきましては、詳細は別掲の記事をご覧ください。と存じますが、昭和四十四年に建てられた同窓会館が老朽化した為に取り壊し、その跡地に建築したものであります。広さは、同窓会

館の約二倍で、同窓会の集会所として利用できることは勿論、生徒の部活動や合宿にも使えるようにと宿泊機能も完備しております。今後、同窓生の皆様がクラス会等での利用を希望される場合には、御連絡下さい。

なお、大妻会館の茶室には、同窓会館の床柱の一部を再利用しておりますし、同窓会館にあつた古い型のピンク電話も設置し、同窓会館建築に際しての皆様の思いを少しでも残そうと考えました。

また、新聞報道等でご存知だと思いますが、大妻会館には、メモリアルクロックということで、大正十四年の本科第一回卒業生の卒業記念品である直径六十センチの大時計が再生されております。高砂町時代まで使用されていた時計ですので、興味のある方は、ご覧いただきたいと思っております。

この度、創立八十周年記念誌「心を継ぐ十年の歩み」と私の発言をまとめた「人へ街へ」を刊行いたしました。御連絡いただければ、お送り致します。



同窓会役員感謝状受賞 (左右共、函館市民会館大ホール)



法人役員感謝状受賞 H15 .10 .10



函館大妻高等学校 創立80周年記念写真撮影 (函館市民会館大ホール H15 .10 .10)





## 八十周年行事を終えて

教  
同窓会相談役 本間 洲 芳

平成十五年十月十日は大安吉日、この日、本校創立八十周年記念式典と祝賀会が市民会館全館貸し切りで盛大に執り行なわれました。また同日会場を移して同窓会・PTA両者の主催で協賛祝賀会が催され、記憶に残る楽しい余興も披露されました。

私自身は創立四十周年をはじめ四十五・五十・五十五・六十・七十・今回と七回の周年行事を経験したことになります。これまではすべて学校が式典会場で諸準備もそれなりに苦労はあったのですが、現在は車社会も進み来賓・保護者の駐車場の確保もむずかしい状況です。

今回の周年行事を迎え本格的に準備に取りかかったのは平成十四年六月にPTA・同窓会・学校の三者で実行委員会（後に協賛会と名称変更）が結成されてからです。その前段階からそれぞれの立場で内容について話し合われてきました。

特に同窓会は数えきれないほどの会合を持ち、細部にわたる諸準備

で大変なご苦労をかけてしまい感謝しております。

私は立場上同窓会の相談役になっておりますが、平成十五年三月現在の卒業生は二万名を越えました。一人ひとり個性のちがう集団ですから、同窓会員すべての声を一つにまとめることは困難です。

そのような事情を考えると、八十周年という記念行事を成功に導いたことは、同窓生の絆が会長様をはじめ各支部長、役員皆様の心を強く一つに結びつけたのだと思います。

協賛祝賀会の折に触れたように、今まさに少子高齢社会の真只中にあります。私は特に私学は永遠に続くものと認識しています。なぜならば、それぞれの私学は創立者の「建学の精神」があるからです。函館大妻高等学校は今八十年の歴史を刻みました。今度は次の九十年、百年に向けて力強く前進します。同窓会が益々発展するためにも会員増が必要で、どうぞ陰に陽に皆様のお力を貸して下さい。



## 記念行事を終えて

PTA会長 石川 兼 司

人間充実している時こそ光り輝いている時はないと、よく言われます。

この日は、まさにそういう人達の集まりを見ている感がありました。自分がまるでどこかの美術館にいるような錯覚に陥りました。この世で一番美しいのは、このような人々のことを言うのだな、とも感じました。

思い起こせば約三年前この日の為に色々準備し、成功裏に収めようと頑張つてこられた役員の皆様、それを理解されて協力している会員の方々。今までに目にしたことのない風景でした。それぞれができることを、できるだけやる、本校の「やればできる」の学校訓を人生に於ても実践している、素晴らしい感動場面でした。

この様な敬愛できる同窓会の方々と一日を共にした経験、必ずや今後の各種



協賛会より記念事業目録寄贈（前列左PTA会長）

活動に生かし、また皆様に再びお逢いできる事を楽しみにしています。末筆ではありますが、大妻高校の益々のご隆盛を祈念致します。



式典後の祝賀会(市民会館小ホール)



創立80周年記念式典同窓会受付



式典後の祝賀会(市民会館小ホール)



創立80周年記念式典会場

平成十五年十月十日晴天。さわやかな新涼の朝、色付き始めた紅葉の峠路をたのしく眺めつつ一路函館へ。

八月より本校又同窓会より「創立八十周年記念式典」へのご丁寧なるご招待状を戴き、有難く待ちに待った嬉しいこの日。車で順調に走行無事会場である市民会館に到着。

同窓会長でいらつしやる北原先生、又お世話下さる皆様のお出迎えを頂き、受付にて早速のお土産記念品等々頂戴致し控室へ。

やがて定刻開式の幕が上りお元気な理事長先生始め、校長先生役員来賓の先生方ご列席の下、校長先生の若々しく、力強いご挨拶に始まり、来賓の先生方のご祝詞と厳肅な中にもほのぼのと式典が進められる。その様な中、私は十年前の「七十周年記念式典」当日を想い出しておりました。

当時校長先生でいらした外山正先生が式辞の中、「次は八十周年の式典です。その日を迎えるまで後十年ありますが、その日には今



瀬棚支部長

伊藤 サツ子

S 19 年 卒 業

日ご出席の皆様はお元気で必ずご出席下さる様に」とのお言葉でございました。その時私は十年後の式典には必ず出席させて頂きたいとの願いを心に秘め、生活に健康に留意して参りました。お陰様であの様な素晴らしい式典に参加させて頂く事が出来只々感激の一言でございます。

今後九十周年、百周年と永遠に益々栄ゆく母校であります事を心よりお祈り申し上げ、感謝とお礼の言葉とさせて頂きます。

天高く校旗ががやく八十年



同窓会瀬棚支部 設立30周年記念出席者



# 母校の隆盛を祝して

札幌支部長 岡田 珠子

S 26 年 卒業

清浄な青空のもと太陽の光がさんさんと輝く平成十五年十月十日函館市民会館におきまして学校法人函館大妻学園函館大妻高等学校創立八十周年記念式典が厳粛、且つ明るく和やかな雰囲気の中で盛大に挙行されました。

その素晴らしい式典に参列させて頂いた頂きました事は誠に身引き締まる感激の時でした。

校長の式辞、ご来賓各位の祝辞等々が心に浸み込んでまいりますと、五十年前の生徒時代に戻り外山八ツ校長先生の笑顔が目前に浮かび懐しさに目頭が熱くなりました。校歌斉唱が始まりました時は制服姿でおかつば頭の生徒になりきり大声で歌っている自分を知りいとおしく思った次第です。

時が経るにつれて学校の式辞の素晴らしさ、重厚さがひしひしと私の心に伝わってまいります。

外山茂樹校長先生は式辞の中で「現在の大妻学園は、初代校長外山八ツ先生と二代校長外山正理事長の功績の賜」と感謝の意を表し賛美されました。

又「祖母の教育理念であります校訓「恥を知れ」と男女同権の神髄である「良妻賢母」を継承し、女子教育に専心する覚悟である」として「大妻高校ここに在り」と全国に認識させるために教職員一同協調の精神で邁進する所存です」と。

校長先生の温情と決意は参列者一同肝に銘じたと確信いたしております。有難うございました。卒業生の一人として母校の九十年を目標して精進して参ります。



札幌支部長を囲んで



札幌支部会にて余興



札幌支部 田村先生(左)を囲んで



函館大妻高等学校同窓会 札幌支部 (平成15年5月24日 於 札幌サンプラザ)





日高支部長

赤羽初音

S30年卒業(旧姓 佐藤)

創立八十周年記念式典を盛會裏に終えられ卒業生の一人として大変うれしくございました。誠にめでとうございます。

メモリアルスクリーンに写し出される歩みを見ながらタイムスリップしていく高砂町時代、今も時折り夢に見る階段や廊下をなぜかぐるぐると廻りながら迷っている自分の姿を思いながら、走馬灯のように往時のことが、頭の中でかめくめつていました。

軽快な音楽にのり素敵なフアツションショーに又夢の世界に引き込まれとても素晴らしい幸せな時間をいただきました。素敵な色彩デザインそれぞれに知恵を出し合い、縫製と曰ごろの努力の結果が花開いた瞬間。とても華やいたショーでした。私共の世代?では考えられぬ事が行なわれていました。

早足で大妻会館などを案内され素晴らしい発展ぶりを見せていただき驚くことばかりでした。普通科を始め福祉科・生活情報科・家政科を選択し個性を伸ばし、心や

さしき人に育てられ、資格を得て社会へ、共にご苦労が報われる至福の時、おめでたいことですが、社会に目を向けますと厳しい情勢が多々出ております。外山八ツ先生の開拓精神のお力をお借りし、すばらしい指導者の叡智により九十年、百年へと歴史を積み重ね、輝ける大妻であることをご祈念申し上げます。



日高支部会 親睦会に出席の皆さん

えりも岬 日高支部会に出席の皆さん



えりも岬(風の館にて)



函館大妻高等学校同窓会 日高支部



# 創立八十周年によせて

東京支部長 東 時子

S 39年卒業（旧姓 記田）

春未だ浅く、まだまだ寒い日が  
続いておりますが、同窓生の皆様  
には、お元気でお過ごしのことと  
お喜び申し上げます。

私が、八十周年の式典のために  
機上の人になりましたのは、十月  
九日の夕方でした。東京の暮れて  
行く空は美しく、明日には満月に  
成る月と、地上の光が、眩いばか  
りに輝いて、翌日の式典を祝つて  
いるかのようでした。

大正十三年に創立された「函館  
大妻技芸学校」も八十年の長い歴  
史に支えられ、初代校長の外山八  
ツ先生、二代目理事長先生、三代  
目校長先生へと見守られ、受け継  
がれて今日迄、第一次・第二次大  
戦を潜り抜け、二万人以上の卒業  
生を輩出し、更に輩出し続けてい  
ます。創立当時からの花嫁修業の  
学校としての存在は大きく、私の  
親が考えたように、三年間続ける  
事により、和裁、洋裁、編物に料  
理、お作法、学科迄お教え頂ける  
娘にとりましては素晴らしい所  
であり、三年間の修行の場所でもあ  
りました。

現在、福祉科実習棟、大妻会館  
と時代と共に変化し、内容も社会  
情勢に合わせて、その時代を先取  
りしております。福祉科・生活情  
報科の導入と常に若々しく、力強  
く歩み続けている母校に、卒業生  
として嬉しさを禁じえません。

新しい未来へと巣立つ生徒達に  
厳しい社会の現実を乗り越える精  
神修養の場であってほしい。  
男女共同参画社会の今こそ「私  
達女性の時代ね」とハツ先生のほ  
くそ笑む顔が浮かびます。



東京支部会・親睦会



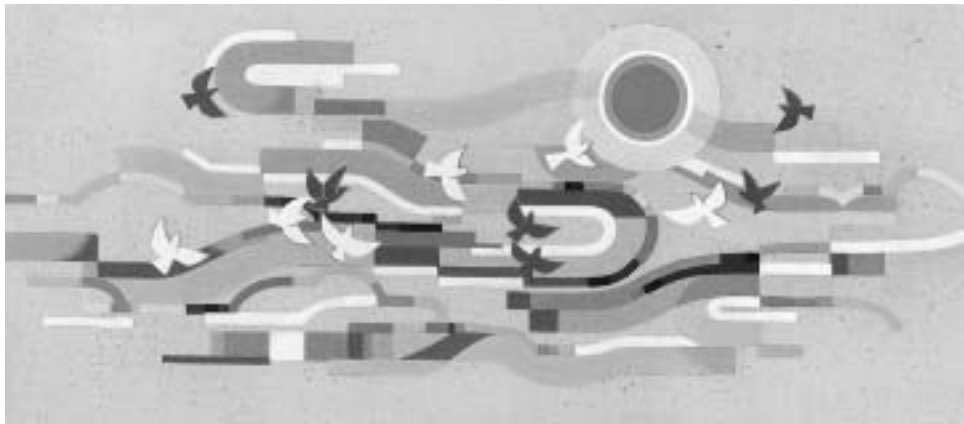
東京支部会・余興 琉球舞踊



東京支部会15周年イベントの一コマ 紳士・淑女の勢揃い（2000年6月3日）



# 写真で綴る 同窓会の歩み ~その1~



昭和61年10月6日 同窓会・PTA協賛で第1体育館完成記念として綴帳寄贈



「生徒食堂の建設」創立70周年記念PTA・同窓会協賛事業。建設資金の一部を寄贈



完成した生徒食堂



初代校長「外山八ツ先生」胸像贈呈・除幕式



平成10年4月創立75周年記念・同窓会設立70周年記念  
初代校長「外山八ツ先生」胸像贈呈・除幕式

# 写真で綴る 同窓会の歩み ~その2~



同窓会館（平成15年3月解体）

大妻会館完成 平成15年7月  
（大妻会館建設資金の一部として1千万円寄贈）



手作り品製作風景



大妻会館和室一部



80周年に向け小物製作 大妻会館にて



80周年記念品の一部を製作  
パラクッションを贈呈



大妻祭一般公開参加「ベコ餅販売」にむけて



メモリアルクロックの再生  
第1回卒業生寄贈の掛時計

# 写真で綴る 同窓会の歩み ~その3~



記念品贈呈 理事長 外山 正先生ご夫妻に代わって学校長外山茂樹先生ご夫妻受贈



協賛祝賀会 「花びしホテル」

協賛祝賀会会場「花びしホテルにて」  
手作り品の販売（平成15年10月10日）

## お厚志

ありがとうございます。

会計 金山 富久子

創立八十周年を祝い、同窓会へ左記の方々から、お祝儀並びにご寄付を頂きました。ご厚志誠にありがとうございます。

- 理事長 外山 正様 100,000円
- 同窓会会長30年卒様 100,000円
- 油川 トク24年卒様 100,000円
- 東京支部役員ご一同様 二五,000円
- 井上マツ子19年卒様 100,000円
- 岩崎小紀子36年卒様 100,000円
- 木村シズエ9年卒様 100,000円
- 菊地 ヨシ16年卒様 100,000円
- 伊藤 園子29年卒様 100,000円
- 中山スギ子35年卒様 100,000円
- 有志ご一同様 29年卒 六〇,000円

なお、三年間にわたり、バザーの作品作りを始め色々な面で沢山の厚志を頂いた方々、他広告の掲載募集等本当に大勢の皆様にご協力を頂きました。心から厚くお礼申し上げます。今後共変わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げます。

広告掲載合計は左記の通りです。  
73口（51件） 二六五、〇〇〇円

## ♪応援して下さい♪ シングル 悲しき豆満港



暁恵さん（本名・田村恵、平成五年卒業）は本校出身の歌手だが、この度、新曲「悲しき豆満江」を出した。脱北者の家族の実話を基に作られた曲で、暁恵は親子の情愛を切々と歌い上げている。  
来る六月六日、函館市民会館で開催される「細川たかしリサイタル」にゲスト出演することになった暁恵・・・  
久々の新曲に意欲満々の暁恵を、同窓生の皆様応援よろしくお願ひします。

歌手（家政科卒業）

あかつき めぐみ

暁 恵 さん





懐かしき再会

伊藤 博  
元教諭

十月十日、暑いぐらいの絶好な日和り。八十周年記念式典は市民会館大ホール。久保文子・孝夫先生母子と一緒に入場。メモリアルスクリーン「函館大妻学園八十年のあゆみ」と在校生によるアトラクション、華麗なファッションショーは印象深かった。

記念祝賀会は小ホール。同窓生は展示室。会費をとらないのに結構なご馳走だった。

PTA・同窓会主催の協賛祝賀会は午後五時から花びしホテル。関本トキさん、油川トクさん、河田昭二先生が廊下におられた。

私達のテーブルには中島莊牛先生、西谷秀男先生、久保孝夫先生など。となりのテーブルは校長御夫妻、北原同窓会長、上嶋サキ先生、久保文子先生など。九十三歳でお元気な久保先生の所には沢山の同窓生が来る。昭和二十六年卒のテーブルで一緒に写真をとる。

余興は華やかな踊りと歌があった。PTA副会長さんのスコップ三味線は絶品。楽しい三時間の祝賀会だった。



母校は私達の誇り

西川 アサ子  
S30年卒業  
(旧姓嵐)

創立八十周年記念に向けて同窓生としてバザー活動に参加し、何か一つでもお役に立てたらと思つて通つた事をふり返り乍ら当日会場へと足を運びました。

同窓生の受付係を仰せつかり、時間と共に出席者の皆さまが明るい表情で、久しぶりにお逢いする方々と笑顔の会話とその姿、母校ならではの暖かみを感じました。受付を終え式場へ入ると、盛大

に開催されている式典の様子に初代校長外山八ツ先生を思い浮べ感無量でした。ご祝辞を耳にせずばらしい伝統ある本校を守り、現代にさきがけた教育方針を取り入れ、地域社会や福祉社会に貢献しご活躍しているご様子は、理事長はじめ校長先生、教職員のご努力の賜と思いました。

八十周年記念事業として建設された「大妻会館」は大変立派なもので、感動と共に同窓生も使用可能と聞かされ、感謝いたしております。母校は私達の誇りです。今後益々のご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。



安藤 エツ子

S33年卒業  
(旧姓沢田)

母校創立八十周年記念式典・祝賀会が盛会裏に終えましたことを心よりお慶び申し上げます。

会場となった市民会館の大ホールのステージにはお祝いの大横断幕、そして理事長先生はじめ茂樹校長、北原同窓会長、PTA会長並びに来賓の方々緊張した面持ちの中にもお祝の喜びが、参加者の私達にも伝つて胸が熱くなるの



忘れられない学校祭

米田 敏子  
S35年卒業  
(旧姓吉田)

私は姉三人と私の四人で、大妻学園にお世話になりました。校訓「恥を知れ」と努力することを教えられた学校生活でした。

私達三十五年卒業生は、この八十周年を機に、同期会を結成して今年で四年目を迎えます。毎年三月五日に集まり、時間を忘れる程話し合っております。一年生では単衣、二年生では袷、三年生では

を覚えました。

在りし日の凜とした和服姿の八ツ校長先生、いつも笑顔の神田先生、担任であった関本先生等々、当時を懐しく想い出していました。

常に時代を先取り地域社会のニーズに応じた女子教育、普通科、福祉科の併置など画期的な取り組み、特に介護福祉士の国家試験合格者が全国トップという快挙などあらゆる場で大活躍との事、女子教育の場として地域社会より絶大な信頼を受けている母校に対し

同窓生として誇りに思います。母校の益々のご発展を心より祈念いたします。

羽織の早縫いをしたことなど話はずきません。

数多い思い出の中で何と言つても忘れられないことは学校祭です。仮装行列・大名行列・奴っこさん踊りに備えた全校あげての足腰使つた練習は、関本トキ先生の情熱あふれた御指導と共に「何ごとにも一生懸命やることの大切さ」を

教えられ、今も私の人生の道標としています。今後大妻学園で学ばせて頂いたことを宝に、更に頑張つてまいりたいと思つています。

末筆ではありますが、校長先生はじめ諸先生のご健勝と母校の一層の発展をお祈り申し上げます。



# 久々にホームルーム講話

## 「S48年普通科卒業クラス会」

元教諭 久保孝夫

創立八十周年記念を機に、十月十一日、函館市内のホテルで、一九七三年に普通科を卒業した生徒たちのクラス会を開催。私にとって教師みようりに尽きる本当にうれしく楽しい出来事でした。

参加者は二十人。神奈川県や千葉県からも駆け付けてくれました。川崎市から来た東真弓幹事長が代表してあいさつ。クラスメイ

トへの電話連絡や会場準備、宿泊までお世話してくれた幹事に感謝しました。私は三十年ぶりにホームルーム講話をしました。平凡なことですが、一つ目は健康な体、二つ目はかまどのやり繰り、三つ目は家族の協力と、「三K（三恵）に感謝を」と話しました。そして乾杯し、祝宴に入りました。

函館在住の斉藤昌子さんが「上の子は社会人、下の子は高校一年生。まだまだ子育て中です。夫の

両親、家事、仕事と忙しい日々が続きますが、普通に笑って生活できれば良いと思っています」と話しておりました。

次回は卒業生が還暦、私が喜寿になった時に再会することを約束しました。楽しみます。



30年ぶりの先生の講話もあったクラス会



杉本幸子  
S33年卒業

快晴に恵まれた、十月十日母校創立八十周年記念式典、祝賀会に身の引き締る思いで出席させていただきました。

校長先生の式辞、在校生の技術を通して自分自身を表現する個性豊かなファッションショー、デザイン、色彩すべてが新鮮に感じ出席者の目を楽しませてくれました。協賛祝賀会では、四十五年前共に過ごした日々の一つ、一つが目



感動の日  
高田康子  
S39年卒業  
(旧姓 島村)

童心に返ったように待ち望んでいた母校八十周年記念行事に参加しました。当日最高の秋晴れになってくれているようでした。

大妻の女性らしさを胸に秘め、ちよっぴりお洒落して背筋をびんととして。会場に着いて一番最初に目にし

に浮かび、たくさんの友との出会い、抱えきれない程の思い出を語り合い、旧交を温めることが出来ました。これもひとえに理事長、校長先生、先生方、同窓会役員の方々の暖かい言葉に感謝の気持ちでいっぱいでした。

人の和と知恵の輪によつて自らの道を切り開いていくことをお教えくださった創立者、外山ハツ先生に思いを馳せると思わず背筋がピンと伸び、今を大切に生きなくてはと思います。

技を通して女子の人格育成を目的に設立された大妻の卒業生であることを誇りに母校の発展を祈ります。

た風景は、母校の生徒の超ミニスカートで理事長に「そんな格好で来て帰りなさい」と注意を受けている場面でした。そうだ四十年前も体育館でこんな場面があったんだと、数十年たった今でも大妻の生徒としての誇りは消えていないと実感した一時でした。

四十年ぶりに訪ねた母校は、私達が学んだ平屋の校舎とはまるで違つ建物でした。

校舎の片隅にある教室で歓声があつたのは、あの懐かしいセーラー服で私達卒業生を迎えてくれました。



## 母校の発展は卒業生の誇り

大竹 多恵子 S17年卒業  
(旧姓 石塚)

しました。

母校の八十周年記念式典に出席させて頂き大変うれしく思いました。母校はその記念の節目節目に大きく成長し驚いております。此の度完成されました大妻会館は大変素晴らしい気に入りました。談話室の色調のやさしさとか暖かさは格別で、そこに座っているだけで心が和み癒される思いが致

ここに至る迄の先生方や関係者の方々のご苦心はどんなに大変だった事かとお察し致します。函館在住の皆様が羨しくてなりません。

創立80周年を皆様と共に心よりお祝い申し上げます。扉を開いて創立以来の情景が沸沸と甦えつつ参りました。50・60・70・80周年と四冊の記念誌が手許に届き、輝かしい母校の伝統に刻まれた足跡を世代を越えて熱い思いで拝読いたしました。私達は、崇高な建学の精神によって導かれ人生の原点とも言える貴重な出会いが与えられました。大妻と言えれば校訓「恥を知れ」のお言葉こそ家庭に社会生活に生かすつ、心の支えと

母校の発展は私共卒業生の誇りです。これからも函館には無くてはならない立派な大妻高校として活躍される事を祈って止みません。

## 「心を継ぐ、十年の歩み」を拝読して

井上 マツ子 S19年卒業  
(旧姓 安西)

なつて現在に至りました。

理事長先生の「不易流行」の言葉は十年前から親しく耳にし大妻の建学の精神が創立者のご意志を堅持し新しい時代へと目覚しい発展を見る時、慶びと同時に私達もこの四文字から学びとりたい。

蘇つた時計、期待される福祉科実習棟、新たな大妻会館、いつの日か私を函館へと誘ってくれるでしょう。今回出席できなかった分まで存分に堪能させて頂きます。

母校の前途に幸あれかしとお祈り申し上げ筆をおきます。

## 当番幹事より

小坂 ユリ子 S41年卒業

私たちが大妻高校を卒業して昨年で四十年目の年を迎えました。光陰矢の如しとは良く言ったもので、年月の過ぎるのは本当に早いものでございます。その間に世の中も大きく変化し、わが母校も大きく変わりました。私たちが入学した年に初めて普通科が設置され、そして本科から家庭科に変わった年でもありました。翌年から家政科になり、現在は家政科・福祉科・生活情報科・普通科と四科があります。みなさん、ここまでお読み

私たちの年代は子育て一段落、と同時に丁度年老いた親の世話をしなければならぬ今日この頃と言う人が多く、なかなか幹事の人數さえ揃わないのではと心配しましたが、みなさん快く引き受けてもらえてうれしかったです。

いただいたお気付きになりましたか？ そうなのです。私たちの学年は創立八十周年の歴史の中でただ一箇学年だけ、家庭科の卒業生がいる学年なのです。そんな私たちが今回、母校創立八十周年という大きな節目の年に、ましてや学校・PTA協賛のとても大きな祝賀会に当番幹事など仰せつかって、初めはびっくり仰天でした。同期

幹事の仕事はPTAの方々や先生方、同窓会役員の方々のお陰でどうにか務めさせていただけました。とは言ってもその方々の足手まといになったのではと、反省しきりです。

二、三人でこれは大変なことになつたと、ただ驚くばかりでした。でもその中の一人が「やるしかない、やってみよう」と言つと、もう一人が「そうだよ、頑張ってみようよ。」と、さすが大妻高校の卒業生だと思えました。

幹事としては同期に出席を促す電話連絡の時など、何十年ぶりで話す友達等が居て結構楽しかったです。友達とは不思議なもので何十年も会っていないのにチヨット電話で話しただけで一瞬のうちに学生時代に戻れるのですから本当に不思議です。幹事と言う仕事にかかわらなければ、こんな嬉しい体験を味わうことも出来なかつたと思います。次年度幹事さんもきつと楽しい思い出がたくさん出ますので、是非頑張つて下さい。末筆になりましたが、当番幹事をご指導下さいました役員の方々多くの同窓の皆様、ご協力本当にありがとうございました。



# 理事長先生叙勲 勲四等瑞宝章 祝 母子二代の荣誉ある受章

## 学園トピックス



平成十五年三月十七日、ホテルロイヤル柏木で、外山正理事長先生への勲四等瑞宝章伝達式が執り行われた。

同章は昭和四十一年に初代校長外山八ツ先生も受章されており、母子二代の光輝ある受章である。平成十五年は、理事長先生にとって、創立八十周年と叙勲、更には米寿を迎えられたこともあり、三重のお慶びの年となった。

理事長先生は、「今後も私学教育に情熱の全てを捧げたい」と話され、ますます意気盛んである。

## 堂々完成 創立八十周年記念事業

# 大妻会館

老朽化し取り壊された同窓会館跡地に、建設が進められていた大妻会館が昨年初旬完成。同月十一日、落成式が行われた。

同会館は鉄骨造り二階建て・延べ三七五・一八平方mで、既に総合的な学習の時間や、部活動の合宿、同窓会活動の他、地域にも開放し幅広く利用されている。内部は茶室・食堂・集会室・大広間の他、シャワー室・洗濯機等も完備している。

なお、同会館の建設資金の一部として、同窓会より一千万円が母校へ寄贈された。



## 創立八十周年記念式典盛大に挙行される



平成十五年十月十日、函館市市民会館大ホールで、創立八十周年記念式典が盛大に挙行された。八十年前、函館の片隅に誕生した本校は三つの時代の荒波を乗り越えて、ついに創立八十周年の記念日を迎えたのである。

同式典には卒業生はもとより来賓各位・在校生・旧職員・教職員他、一千余名が集い、厳粛な中にも慶びが満ち溢れ、その後の祝賀会共々忘れぬ一日となった。

## 創立八十周年記念大盛況。来場者三千余人 家政科・生活情報科合同発表会

平成十五年九月五日（七日迄）R函館駅二階多目的ホール（イカすホール）で創立八十周年記念の家政科・生活情報科合同発表会が開催され、三日間で約二千余名の来場者が訪れ大盛況となった。

家庭科教育八十年の伝統が凝縮された展示内容だが、コンピュータを駆使した時代の先端を行く作品も多く、見どころ一杯であった。体験コーナーも好評で多数の来場者が挑戦していた。



函館大妻高等学校同窓会誌「いとぐるま」創立80周年記念特集号

平成十六年三月三十日発行

函館市柳町14番23号

電話〇一三八五二一八九〇番

### 年会費.....集計状況

ご協力ありがとうございます。

## 平成15年度 ¥655,780

(678名)

(平成16年2月現在)

年会費(千円)納入について新年度もご協力をお願いします。

## ご案内

### 平成16年度 同窓会総会・親睦会のご案内

平成16年7月3日(第1土曜日)  
 花びしホテル ☎57-0131 函館市湯川町1-16-18  
 日 時 平成16年7月3日(第1土曜日)  
 会場 花びしホテル  
 総 会 PM 5:00  
 親睦会 PM 6:00  
 会 費 5,500円  
 申 込 平成16年6月20日までに同封の(青色)振込用紙でお申込みください。  
 6月26日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

当番幹事  
 S55年卒  
 渡 邊 由美子  
 TEL0138-49-4694  
 S56年卒  
 関 崎 由香利  
 (旧姓 田浦)  
 TEL0138(53)7136



バザー委員会から  
 嬉しい報告です  
 金子 梨枝  
 S33年卒業  
 (旧姓 瀬戸)



塚 田 英子  
 S29年卒業  
 (旧姓 続)

平成十三年十二月スタート。母校創立八十周年の慶事へむけて資金作りとして始めた事業へ同窓の皆様のご理解とご支援を賜り、改めてお礼を申し上げます。

母校から得ました技術を生かし、手作り品を主とした大妻らしいバザーが実現出来ましたのも、ご指導や製作、販売等、積極的に係って下さった皆様、又作品や物品を提供頂きました多くの皆様のご協力の賜物と感謝致して居ります。三年間お力添えを頂き本当に有難うございました。

祝賀の余韻の未ださめぬ去る十一月八日校長先生、バザー委員六十名出席の中、目標を上まわる成果の報告と解散の集いを持ちました。三年間に培われました絆とパワーを、今後も同窓会活動へお寄せ頂ければ幸いです。

事務局 本間 子 (S26卒)  
 小坂 麗 (S27卒)  
 池田 靖子 (S37卒)  
 会 計 塚田 英子 (S29卒)  
 西川 亜紗子 (S30卒)

バザー  
 利益総額  
 1,108,176円

母校創立八十周年の記念行事として、平成十三年より三年計画でスタートしたバザー委員会の仕事を、同期・同窓の皆様と共に進めて参りました。併せて、月一度程の手作り会にも同期三人と参加し小物作りの手ほどきをしていただきながら、自主製作にも取り組みまして、それぞれの作品を仕上げその間に心よく提供して下さったバザー用品の整理等を致しました。そして一年目の七月、大妻祭前日は猛暑の中での値付け、搬入と汗だくで当日の準備をしたこと、二年目のバザー本番の日は朝から土砂降りですが、万事休すの思いでしたが、活動の趣旨をご理解していただき、嬉しく思ったこと等が今思い出されます。

記念式典も盛会裏に、そしてバザー委員会の収益も皆さまの暖かいご支援で達成できました。ご協力下さいました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。

最後に母校の一層のご隆盛を祈念申し上げます。

### 同窓会新幹事(平成14年度卒業)

家政科一組 佐藤 亜希

同 二組 佐々木 真惟

福祉科 小林 未令

生活情報科 奥田 来

普通科一組 新田 美弥

同 二組 野呂 加奈子

同窓会新幹事(平成15年度卒業)

家政科 川島 美和子

福祉科 板谷 香菜絵

生活情報科 前川 弥生

普通科一組 笹谷 香織

同 二組 渡辺 弥生

### 編集後記

平成十五年度は、母校創立八十周年記念式典、祝賀会を盛会裏に終えることができました。同窓生の皆様が遠方より大勢ご出席し、市民会館での記念式典では、スクリーンで、なつかしい外山八ッ校長先生、思い出深い先生方のお姿が写し出され素晴らしい学校の発展をうれしく感じました。その時の様子等もご寄稿して頂きました。感謝の気持ちでお礼申し上げます。

平成十五年度は「いとぐるま」を休刊しました。(池田記)

### 編集委員

山原 幸子

北鼻 米子

山本 幸子

阿部 幸子

市山 禮子

金子 梨枝

池田 靖子

砂田 暁子

小坂 麗子

相馬 富久子